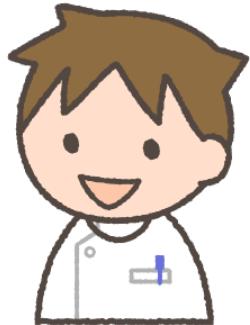


看護主任として、介護について思う事



桜の季節も終わりそろそろ暖かい季節を迎える頃ですが、同時に季節の変わり目で体調管理が難しい季節でもあると思います。



TV や新聞などでも取り上げられていますが、介護保険についても様々な議論が目に付く事と思います。高齢化社会を迎える中、これから介護施設がどのような目的に向かっていくのか変革の時期になっているといえるでしょう。

そういった中で私たちは利用者様へのより良い生活のため、日々技術知識の向上に努めています。

病院と介護施設の違う所は目的にあると思います。病院は疾患の治療を第一の目的に考え患者様もそれを第一に考えて退院に向かっていけると思います。しかし介護施設は、少し複雑なように感じます。そこには家族の存在が大きく関与している点です。



高齢になれば自宅での独居は難しくなるでしょう。介護にあたる家族も子供がいたり、就労が忙しかったりと多大なる苦労の中で生活している時期であり、そういった中での利用が多いことと思います。



少しでもアットホームな環境を目指し、面会に来て頂いた際には家族と利用者様の時間を大切な時間として第一に考えることが大切だと考え取り組んでいます。利用者様の些細な変化、うれしかったこと、リハビリをがんばっていたこと、こんな話をしていました等、私たちが感じたことを家族様にも積極的に伝えていくことで利用者様と家族様の心の架け橋の一部になれば幸いと思います。

看護主任:玉置



今年は桜の開花が早く、元々のお花見計画と見頃のタイミングが合わず、難しい結果となってしまいました。毎年恒例の事ではあるものの、毎回頭を悩ませる難題です。皆様は、咲き誇った桜の花を眺める事が出来ましたでしょうか？桜といえば「ソメイヨシノ」花が終わるまで葉が出ないその姿はとても美しいものですよね。

この「ソメイヨシノ」実は人の手で作り出された品種で、日本原産種の「大島桜」と「江戸彼岸桜」を交配したものだそうです。その美しさから庶民の人気を博し、明治時代に全国の公園、学校、河川沿いに植えられ、今では全国のおよそ 80%を占めるそうです。美しさ以外にもう一つ驚く事があります。それは人の手で作られた「ソメイヨシノ」自力での繁殖が出来ないそうです。つまり全国に咲き誇っているこの桜、最初に作られたこの花の全てクローンという事になります。その為、開花の条件が揃うと、いっせいに咲き始めます。クローンなので木による開花のバラツキが少ないのでですね。さて毎年恒例のイベント。今年の内容をお伝えします。

お花見が見せる利用者様の表情



4月10日に旧ドリームランドの春日神社へお花見に行ってきました。残念ながら当日はあいにくの空模様で、寒い中でのお花見となってしまいました。所々に八重桜や春の花が見えるたび歓声をあげる方、他の人との談笑を楽しむ方等、普段とは違った反応をされる利用者様がほとんどだったので、まずまずのお花見になったようです。神社には鹿が居て(鹿は神の使いだそうです)、車から出られた方は鹿を見入っていました。来年は満開の桜が見られるといいですね。



桜の木の下で



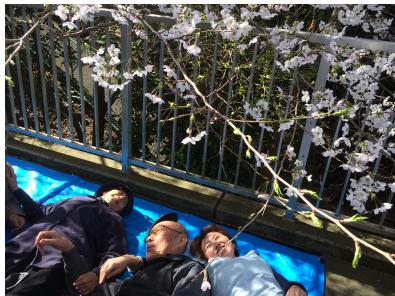
3階介護：齋藤



暑さ寒さも彼岸までと言いますが、今年は彼岸開けから気温が20度を超える日が続き、3月下旬には桜の蕾も一気に満開となりました。

デイケアでは満開に合わせ、曜日ごとに場所を変えてお花見を行いました。中



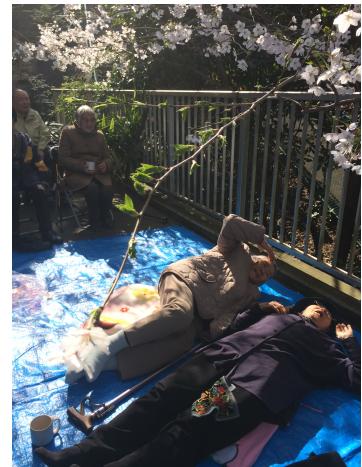


でも今年は、屋外歩行リハビリのコースである施設地下駐車場奥の桜が、例年の桜よりも素晴らしく綺麗でしたので、その桜の木を椅子で囲み、体操をしたり、歌を歌ったりして楽しい時を過ごしました。ブルーシートに寝転び桜を見上げる利用者様。桜を手に取り匂いを嗅ぐ利用者様。屋外歩行のコースを知らなかった車椅子の利用者様が、自分も来る事が出来たと喜ばれている姿。普段見る事のない利用者様の表情を、このお花見で見る事が出来、嬉しく思いました。



また来年、施設敷地内のこの桜の木が今年以上に綺麗な花を咲かせる事を期待して、みんなで見守り、大切にしていきたいと思います。来年は利用者様のご家族も、ぜひこの桜をご覧になられてはいかがでしょうか。

通所介護:小川



花よりお寿司？

2階では4月9日にお花見を予定していましたが、4月に入り寒い日が多く実施する事が出来ませんでした。



しかし4月3日にお寿司の外出レクレーションに出かけましたので、その時の様子をご報告致します。

当日はやはり雨が降っており、2台の車で港南台のお寿司屋



さんまで行きました。行く途中柏尾川の桜を見学し満開の桜に、皆様大変喜ばれておりました。お寿司屋さんでは、お寿司やアイスクリームを注文されておりました。施設では見られない嬉しい表情や楽しい会話に、時間が経つのを忘れてしまいそうでした。

外出の機会が少ない利用者様の為に、これからもいろいろな企画を考えて楽しい生活を送って頂ければと思います。

2階介護:徳増



支援相談員の心掛け

支援相談員の心掛け

充実した日々のお陰でこの1年があつという間だった気がします。

支援相談員の役割を一言で言い表すのは難しいのですが、施設の中で「利用者様やご家族が接する最初の職種」と言えます。ご相談に来られるご家族やご本人様は、様々な不安や想いを抱えています。縁あって、ケアポート田谷にご相談いただいたからには、その想いに耳を傾ける事ができるようにと心掛けていますが、日々是精進といったところです。この仕事に就いてから十数年、もうひとつ心掛けているのは笑顔です。私が他の施設や病院を訪問した際、笑顔で挨拶してくださるととても印象がよいものです。

さて、ケアポート田谷はどうでしょうか？ 実際、見学者の方をご案内している時、ご利用者様から「こんにちわ」「いらっしゃい」と笑顔で挨拶してくださることがあります。すると、自然と受け手からも笑顔が出て、和やかな雰囲気になります。

日々の生活や業務に追われて忘れて

しまいがちですが、職員や利用者様が自然に笑顔が交わせる雰囲気を目指して行きたいと思って

います。



今後ともよろしくお願ひします。

こんにちは。支援相談員の石井です。平成26年4月ケアポート田谷に就いてから1年が過ぎました。

ある日の過ごし方

先日、家族で、はまぎん子供宇宙科学館へ行ってきました。子供向けの遊具や宇宙や科学に関する知識を深められるようになっている、5階建ての建物です。実際に宇宙食を試食でき、様々な味(バニラ・チョコ・お好み・杏仁豆腐味)のパンの様々な物を食べました。家族皆で「これが宇宙食か！」と感心しながら食べましたが、子供達は1周につき3粒まで食べられるとの事で、3回も周ってしまいました。ちなみに「ストップ」はかけときました。次はプラネタリウムを見ました。アニメの「おじやる丸」が星座の説明をしてくれるものだったので、子供達にもわかりやすくとても集中して見ていました。私は暗闇の中、睡魔との闘いに没頭しておりました。また遊具コーナーも充実しており、大きな宇宙船風のジャングルジムがあり、子供達は汗だくになって走り回っていました。私も一緒に入りましたが、入口が小さく中が迷路のようになっており、また子供達がごった返していたので大変でした。ただとても楽しめるポイントではありました。他にも色々なコーナーがありましたが、大人も子供も、宇宙・科学に対して知識を深められ、また楽しめる1日となりました。また今度行ってみたいと思います。



通所介護：上野